株式会社 / | -モニック・ドライフ。- システムズ"

2019年3月期決算説明会

2019年5月17日

このプレゼンテーション資料には、2019年5月17日現在の将来に関する予想が含まれております。この予想は当社経営者の判断に基づくものであり、事業環境の変動等のリスクや不確定要因を含んでおります。そのため、実際の業績は、これら見通しと大きく異なる結果となる場合があることをご了承願います。

2019年3月期 決算の概況

2019年3月期 連結業績(対従来予想比)

	従来予想(18年11月8日発表)		19年3月期		対従来予想比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	增減率 (%)
売上高	67,000	100.0	67,809	100.0	809	1.2
営業利益	16,100	24.0	16,903	24.9	803	5.0
経常利益	16,500	24.6	17,464	25.8	964	5.8
当期純利益	10,600	15.8	11,601	17.1	1,001	9.5
EPS (円)	110.11	_	120.52	_	10.41	9.5

[※]当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

2019年3月期 連結業績(対前期比)

				1	単位:百万円	
	18年3	3月期	19年3月期		対前期比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	54,339	100.0	67,809	100.0	13,469	24.8
営業利益	12,598	23.2	16,903	24.9	4,304	34.2
経常利益	12,228	22.5	17,464	25.8	5,236	42.8
当期純利益	8,059	14.8	11,601	17.1	3,542	43.9
EPS (円)	86.90	_	120.52	_	33.62	38.69
設備投資額	8,757	_	23,876	_	15,119	172.6
減価償却費	5,852	_	6,247	_	394	6.7
研究開発費	2,114	_	2,476	_	361	17.1

[※]当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

[※]減価償却費は有形固定資産、無形固定資産(のれん含む)に係る償却費の合計額を表示しております。

2019年3月期 主要グループ会社の業績

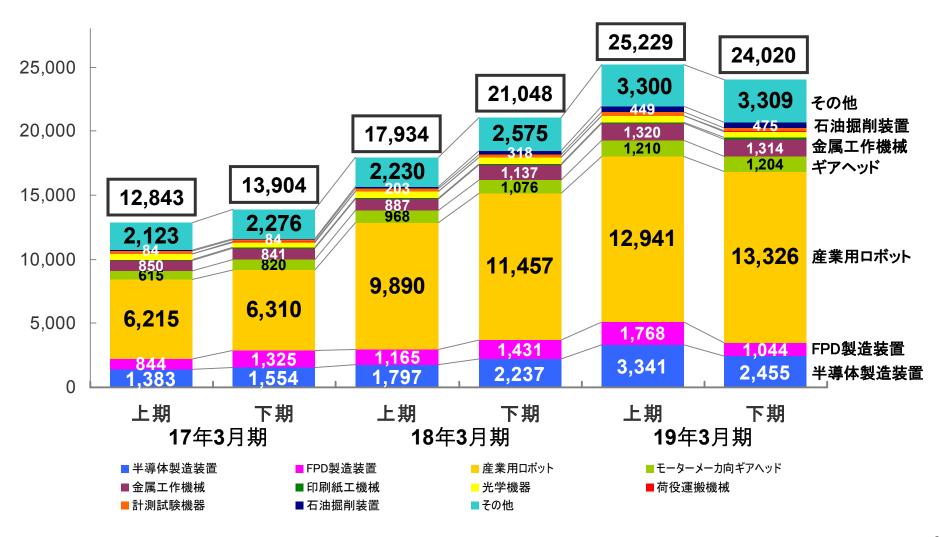
		1112次114元元	売」	上高	当期約	吨利益
		出資比率	金額	対前期 増減率(%)	金額	対前期 増減率(%)
	(株) ハーモニック・ト [*] ライフ [*] ・ システムス [*]	_	49,249	26.3	10,413	33.7
※2 ※5	米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ト・ライブ・エルエルシー)	100% (51%)	6,856	24.5	494	104.5
	(株) ハーモニック・エイテ・ィ	100%	3,371	21.2	362	47.8
※ 3	哈默納科(上海)商貿有限公司 (中国)	100%	4,048	▲12.8	194	▲30.7
%4 %6	ハーモニック・ト [・] ライフ・・アーケ・ー (ト・イツ)	74.7%	15,952	17.1	2,331	14.0

- ※1 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。
- ※2 為替レート 2017/12期:1US\$ =112.19円 2018/12期:1US\$ =110.43円
- ※3 為替レート 2017/12期:1元 =16.63円 2018/12期:1元 =16.72円
- ※4 為替レート 2017/12期:1€ =126.67円 2018/12期:1€ =130.42円
- ※5 米国子会社(連結)の当期純利益は、非支配株主利益控除後の金額です。
- ※6 ハーモニック・ドライブ・アーゲーは傘下の子会社を含む連結決算の金額であり、非支配株主利益控除前の金額です。

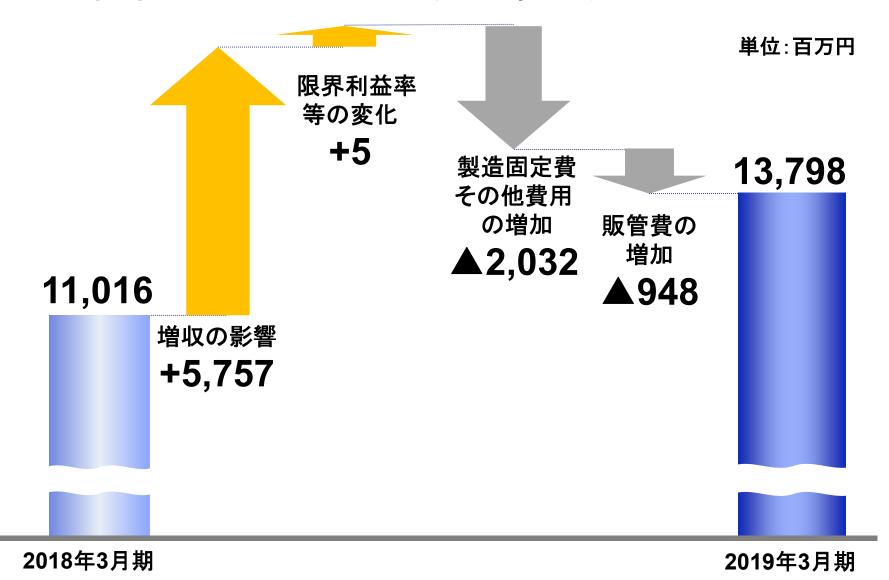
2019年3月期 単体業績(対前期比)

	18年3月期		19年3月期		対前期比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	38,982	100.0	49,249	100.0	10,266	26.3
営業利益	11,016	28.3	13,798	28.0	2,782	25.3
経常利益	11,044	28.3	14,213	28.9	3,169	28.7
当期純利益	7,788	20.0	10,413	21.1	2,625	33.7
EPS (円)	83.97	_	108.18	_	24.20	28.8
設備投資額	6,523	_	15,945	_	9,422	144.4
減価償却費	1,634	_	2,458	_	824	50.4
研究開発費	1,368	_	1,629	_	261	19.1

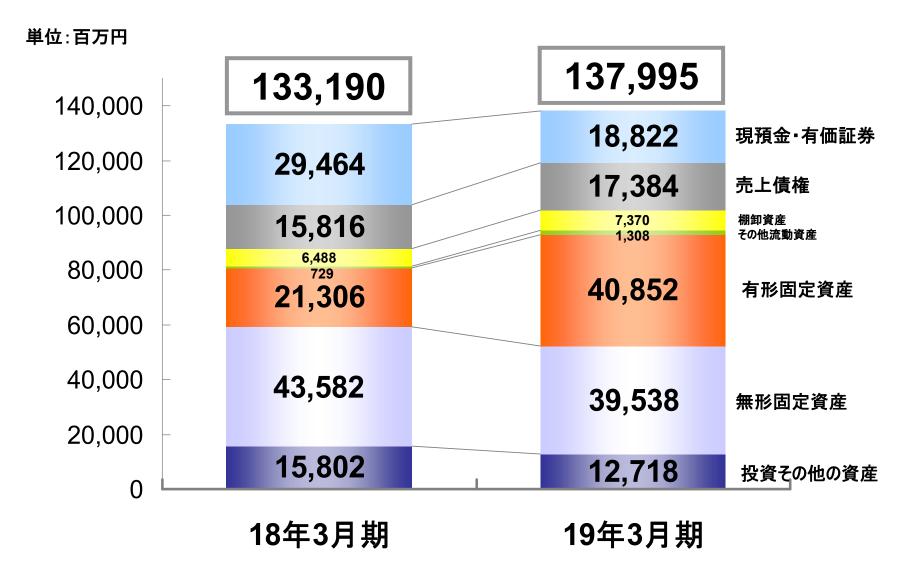
単体用途別売上高



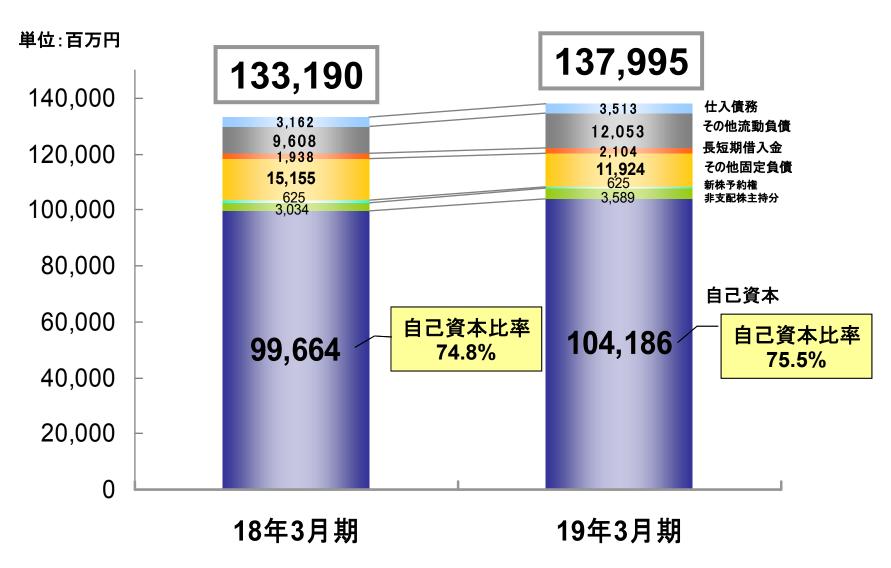
2019年3月期 単体営業利益 対前期比増減要因



連結資産の状況

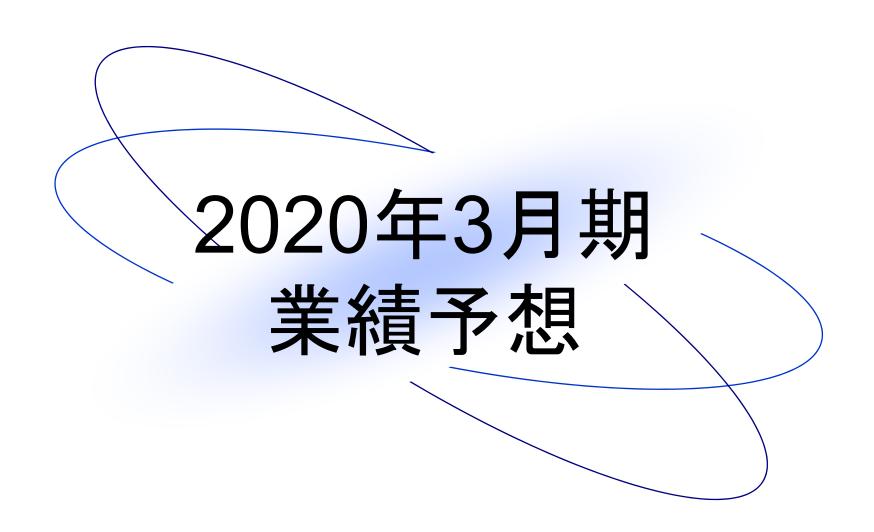


連結負債純資産の状況



連結キャッシュ・フローの状況

単位:百万円	18年3月期	19年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,233	15,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲8,171	▲22,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,493	▲3,271
換算差額	95	▲ 171
現金及び現金同等物の増(▲減)額	18,651	▲ 10,720
現金及び現金同等物の期末残高	28,320	17,600



2020年3月期 連結業績予想

					j	単位:百万円
	19年3月期		20年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	67,809	100.0	42,000	100.0	▲25,809	▲38.1
営業利益	16,903	24.9	1,000	2.4	▲ 15,903	▲94.1
経常利益	17,464	25.8	1,000	2.4	▲ 16,464	▲ 94.3
当期純利益	11,601	17.1	50	0.1	▲ 11,551	▲ 99.6
EPS (円)	120.52	_	0.52	_	▲120.00	▲ 99.6
設備投資額	23,876	_	9,500	_	▲ 14,376	▲ 60.2
減価償却費	6,247	_	7,900	_	1,652	26.5
研究開発費	2,476	_	2,450	_	▲26	▲1.1

^{※20}年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥110.00 1€ = ¥125.00 1元 = ¥16.00

[※]当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

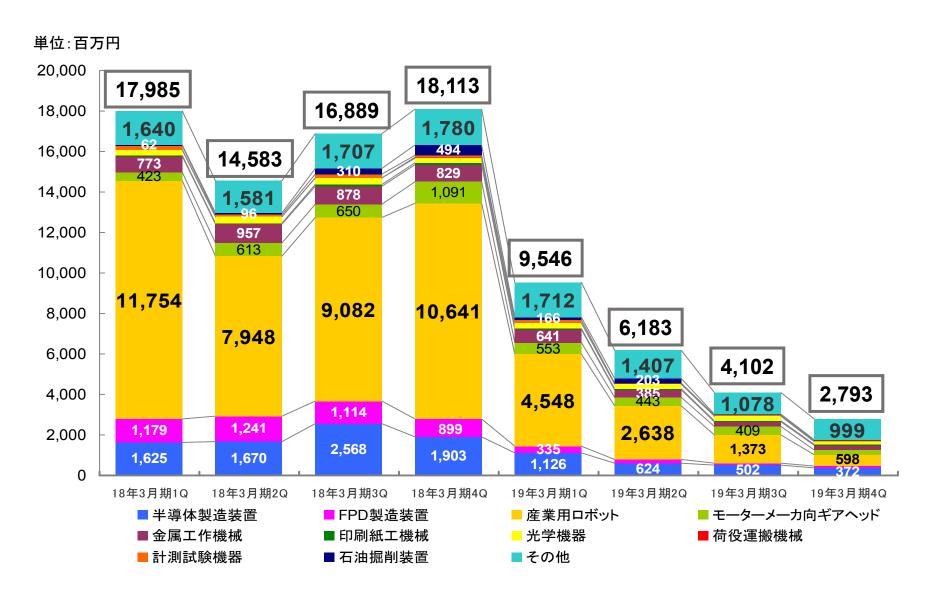
[※]減価償却費は有形固定資産、無形固定資産(のれん含む)に係る償却費の合計額を表示しております。

2020年3月期 主要グループ会社の業績予想

		山次以壶	売上高		当期純利益	
		出資比率	金額	前期比 (%)	金額	前期比 (%)
	(株) ハーモニック・ト [*] ライフ [*] ・ システムス [*]	_	22,000	▲55.3	100	▲99.0
※2 ※5	米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ト・ライブ・エルエルシー)	100% (51%)	6,700	▲ 2.3	400	▲19.1
	(株) ハーモニック・エイテ・ィ	100%	2,000	▲40.7	20	▲94.5
% 3	哈默納科(上海)商貿有限公司 (中国)	100%	4,400	8.7	190	▲2.5
%4 %6	ハーモニック・ト [*] ライフ [*] ・アーケ [*] ー (ト [*] イツ)	74.7%	15,500	▲2.8	2,100	▲9.9

- ※1 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。
- ※2 為替レート 2018/12期:1US\$ =110.43 円 2019/12期予想:1US\$ =110.00円
- ※3 為替レート 2018/12期:1元 =16.72円 2019/12期予想:1元 =16.00円 ※4 為替レート 2018/12期:1€ = 130.42 円 2019/12期予想:1€ =125.00 円
- ※5 米国子会社(連結)の当期純利益は、非支配株主利益控除後の金額です。
- ※6 ハーモニック・ドライブ・アーゲーは傘下の子会社を含む連結決算の金額であり、非支配株主利益控除前の金額です。

単体用途別「受注高実績」【四半期】



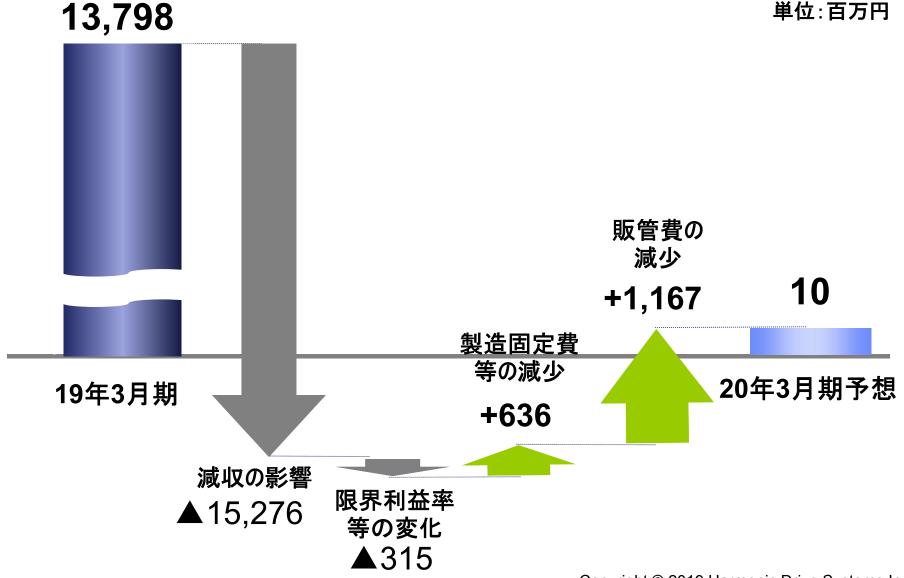
2020年3月期 単体業績予想

	19年3	19年3月期		20年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	増減率 (%)	
売上高	49,249	100.0	22,000	100.0	▲ 27,249	▲55.3	
営業利益	13,798	28.0	10	0.0	▲ 13,788	▲99.9	
経常利益	14,213	28.9	150	0.7	▲ 14,063	▲98.9	
当期純利益	10,413	21.1	100	0.5	▲ 10,313	▲99.0	
EPS (円)	108.18	_	1.04	_	▲ 107.18	▲99.0	
設備投資額	15,945	_	4,700	_	▲ 11,245	▲ 70.5	
減価償却費	2,458	_	3,860	_	1,401	57.0	
研究開発費	1,629	_	1,800	_	170	10.5	

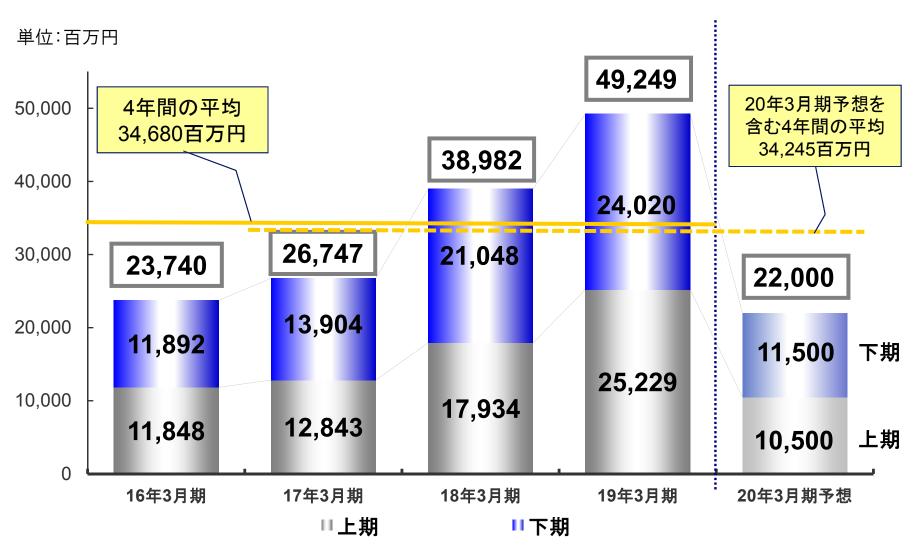
^{※20}年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥110.00 1€ = ¥125.00 1元 = ¥16.00

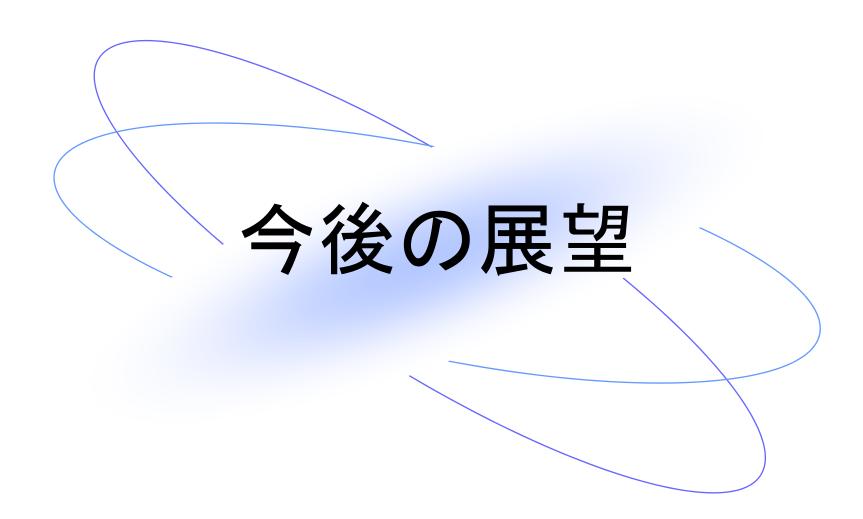
[※]減価償却費は有形固定資産、無形固定資産に係る償却費の合計額を表示しております。

2020年3月期予想 単体営業利益 対前期比増減要因



単体売上高の推移





地域別の受注動向

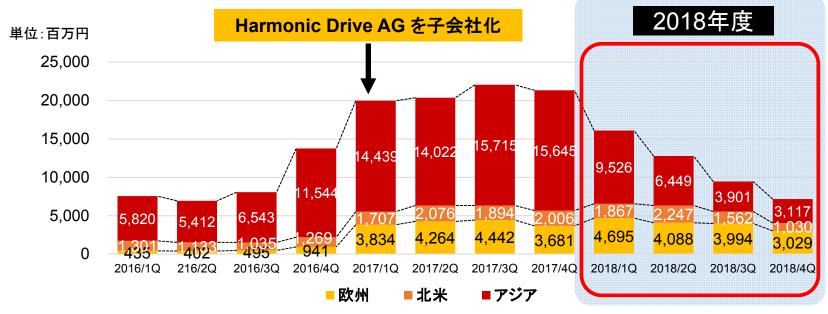
地域別 連結受注高の推移

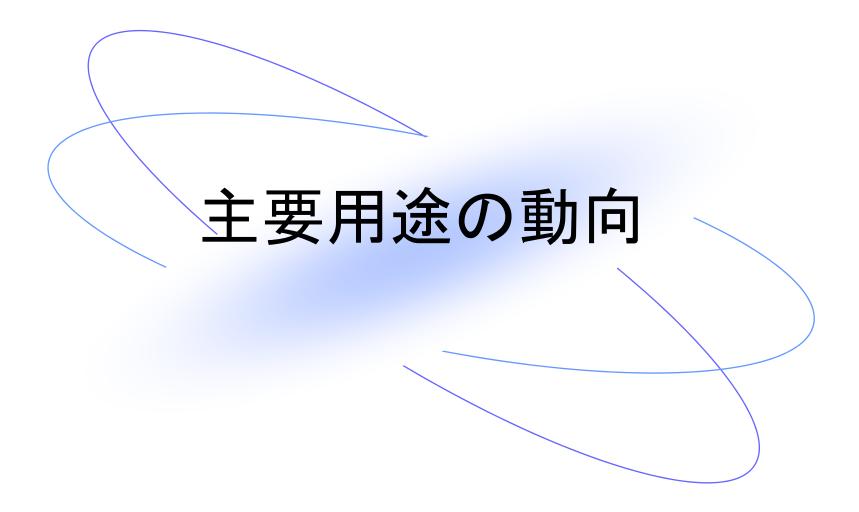
【外部環境】

- ■米中貿易摩擦及び財政改革に伴う中国市場の成長鈍化
 - →足下では中国市場で一部回復の兆し
- ■2017年及び2018年における産業用ロボットの「投資過熱」反動
 - →日本ロボット工業会発表の受注高は減少局面に
- ■当社製品に対する過年度の「先行発注」に伴う在庫調整
 - →代理店在庫、お客様所有在庫の調整中(足下のキャンセル、納期延期の要請は沈静傾向)

【内部環境】

- ■お客様との取引関係や当社製品・サービスに対する評価に変化なし
- ■生産能力増強に伴う受注残高の消化により納期は正常化

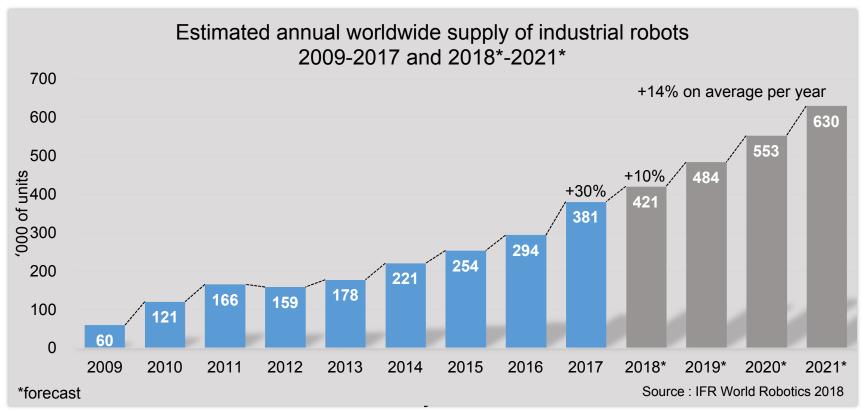




1. 産業用ロボット

- 中国市場の成長鈍化に伴う製造業における設備投資の減少
- 中国市場で一部回復の兆し
- 省力化・自動化投資需要は根強い

世界の産業用ロボットの販売台数見通し



2. 協働ロボット

- ■製造業、サービス業で拡がる採用事例
- ■欧州を中心に底堅く推移

Co-botsの市場規模(販売金額/台数)見通し







提供: Techman Robot Inc. 様

出所:富士経済「2018 ワールドワイドロボット関連市場の現状と将来展望 No.1 FAロボット市場編」

3. 半導体製造装置、液晶·有機EL製造装置

半導体製造装置

- ■スマートフォン市場の成長鈍化
- ■米IT大手の設備投資減速に伴うメモリー需要の減少
- ■AI-VR-CASE(自動車関連)向けは堅調
- ■5G関連投資に期待 (3G「音声」→4G「データ」→5G「映像」)



液晶•有機EL製造装置

- ■スマートフォン成長鈍化に伴う中小型パネルの需要減少
- ■大型テレビ・車載向け有機ELの需要の萌芽





新製品 新たなアプリケーション

パワーアシストスーツ&AGV



パワーアシストスーツ&AGV

★新製品:FLAシリーズ

軽さ・薄さの追求により、用途にマッチした新型アクチュエーターのシリーズ化に成功

▶ 専用設計による軽量化と超扁平形状を実現 最軽量 390g 全長39.8mm <FLA-11Aタイプ>

▶ 用途に合わせた製品ラインアップ

4型番×3減速比×2電圧 多彩な組合せ

加速機部

DC24Vタイプ
DC48Vタイプ

R平ブラシレスDCモーター

AGV向けに特化
減速比1/8 or 1/9

パワーアシストスーツ&AGV

株式会社安川電機様とのコラボ製品として幅広いお客様層に提供



MINI-MICROシリーズのグローバル展開

先端医療・アミューズメント



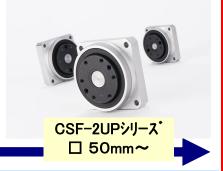






Φ10mm~





- ▶ 当社グループのみが成し得る、強い競争力を持つ製品の世界展開
- > さらに成長していく上記市場での de facto standard としての地位確保

画期的新型エンジンの実用化に貢献

■日産自動車株式会社様 可変圧縮比(VCR)エンジン用アクチュエーターへの採用 エンジン1基あたり1台のハーモニックドライブ® が搭載



提供:日産自動車株式会社 様

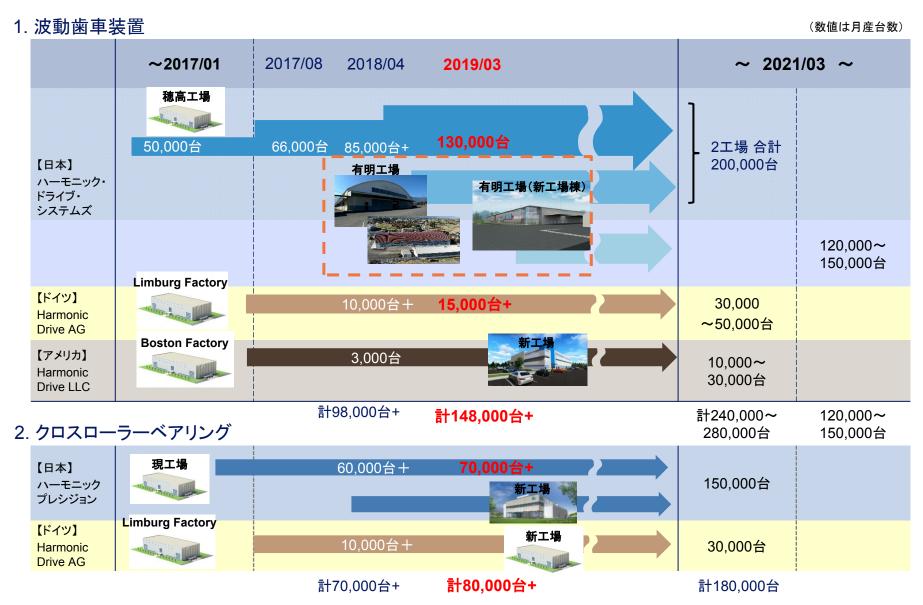
燃費性能の大幅な改善

- ●運転状況に応じて圧縮比を連続的に変化
- ●熱効率の大幅改善
- ●実用化に20年以上の開発期間を要した内燃機 関における夢の技術

◆ 次世代技術への展開にも期待 内燃機関とEVとの融合にも寄与する最新技術

中期経営計画達成に向けた取り組み「QCDS能力の引き上げ」

1. 生産能力引き上げのロードマップ



2. 有明工場の新工場棟建設

(長野県安曇野市)

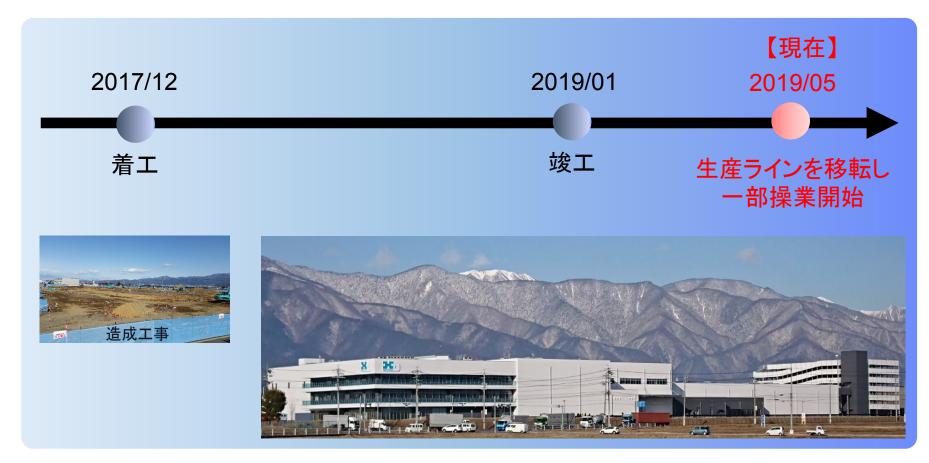
- 波動歯車装置(HarmonicDrive®)の生産拠点
- 中期的な生産量増加を見据えた工場(延床面積:21,818㎡)
- 機械設備投資、人員の増員は需要動向を注視しつつ段階的に実施予定



3. 松本工場の新工場棟建設

(長野県松本市)

- クロスローラーベアリングの生産拠点
- 中期的な生産量増加を見据えた工場(延床面積:23,659㎡)
- 組立ライン、加エラインの一部を移設し3月から操業開始



4. 米国工場の新工場棟建設

(マサチューセッツ州 ビバリー市)

- 波動歯車装置(HarmonicDrive®)の生産拠点
- 北米の現地生産比率引き上げと今後の需要増加への対応 (延床面積:8,830㎡)



5. 生産性向上の取り組み

- ■当社グループが標榜する生産体制 高度な「技術」と「技能」に裏打ちされた、お客様夫々の個別ニーズにきめ 細かく対応できるものづくり
- ●少量・多品種のものづくり
- 【小ロットロボット、半導体、その他一般向け】
- ①技能者の高度な加工、組立、検査スキルにより柔軟に対応
- ②長年培った少量・多品種に適合した生産技術、生産管理システムを駆使

- ●中量・少品種のものづくり
 - 【車載向け、量産ロボット向け】
 - ①自動化を強く意識したライン編成
 - ②長年培った知見を自動化設備に注入

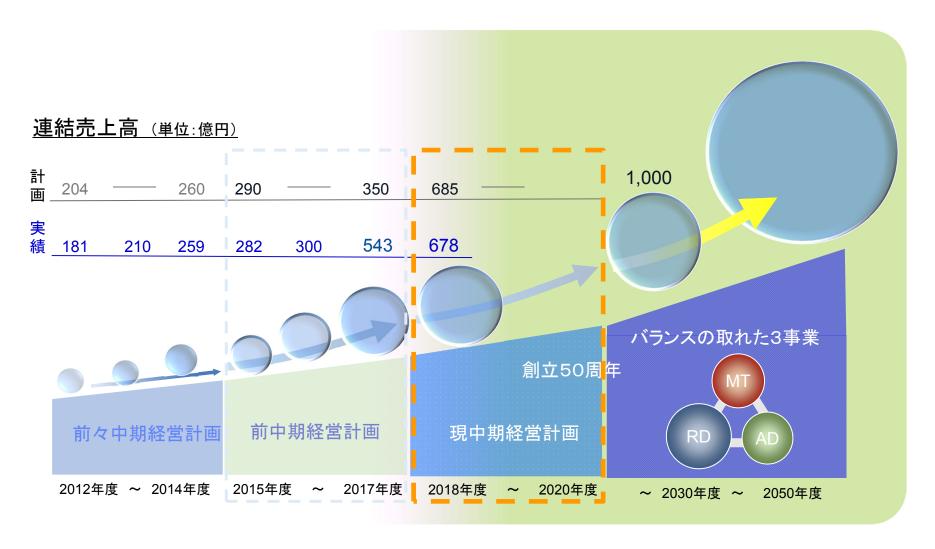
両面を追求

- ■カスタマイズ対応力の向上
- ■納期短縮
- ■品質のさらなる向上
- ■コスト競争力の強化



「現中期経営計画」 及び 2030年~2050年のさらなる成長を目指して

中期経営計画及び長期ビジョン



株式会社 /1-モニック・ドライフ..・システムズ"

2019年3月期決算説明会

2019年5月17日

このプレゼンテーション資料には、2019年5月17日現在の将来に関する予想が含まれております。この予想は当社経営者の判断に基づくものであり、事業環境の変動等のリスクや不確定要因を含んでおります。そのため、実際の業績は、これら見通しと大きく異なる結果となる場合があることをご了承願います。